

## 2. 出産や子育てに関することについて

問7 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか(感じましたか)。

未婚の方は、子どもを持つと仮定してお答えください。

次の項目の中から1つだけ選んで○をつけてください。

全体では、『感じる』(「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の計:以下同じ)割合が69.9%、『感じない』(「あまり不安や負担などは感じない」と「全く感じない」の計:以下同じ)が23.8%となっています。

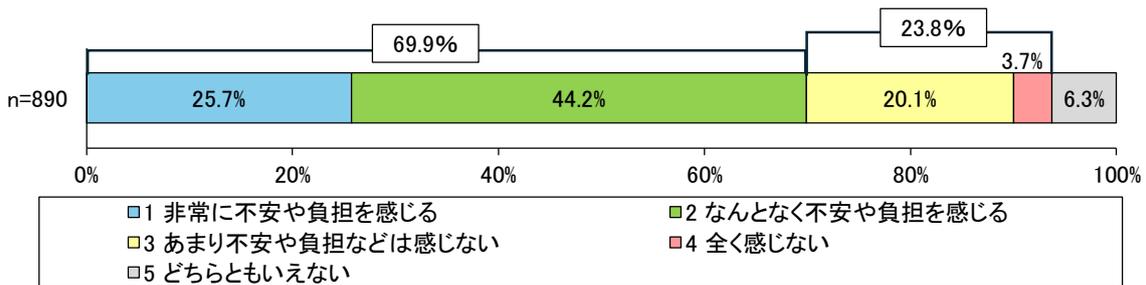
性別では、『感じる』割合は、男女とも全体とほぼ同じとなっています。

年代別では、『感じる』割合は、年代が下がると高まっています。

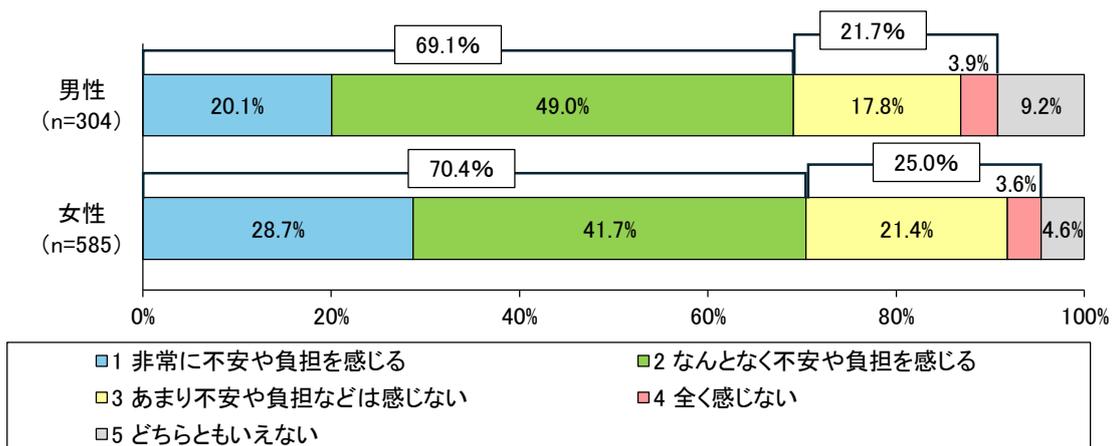
子どもの有無別では、『感じる』割合は「子どもがいない人」(80.6%)が「子どもがいる人」(63.5%)を17.1ポイント上回っています。

過去調査との比較では、『感じる』割合はわずかに高まる傾向で推移しています。(平成26年度:65.0%→令和元年度:67.5%→令和6年度:69.9%)

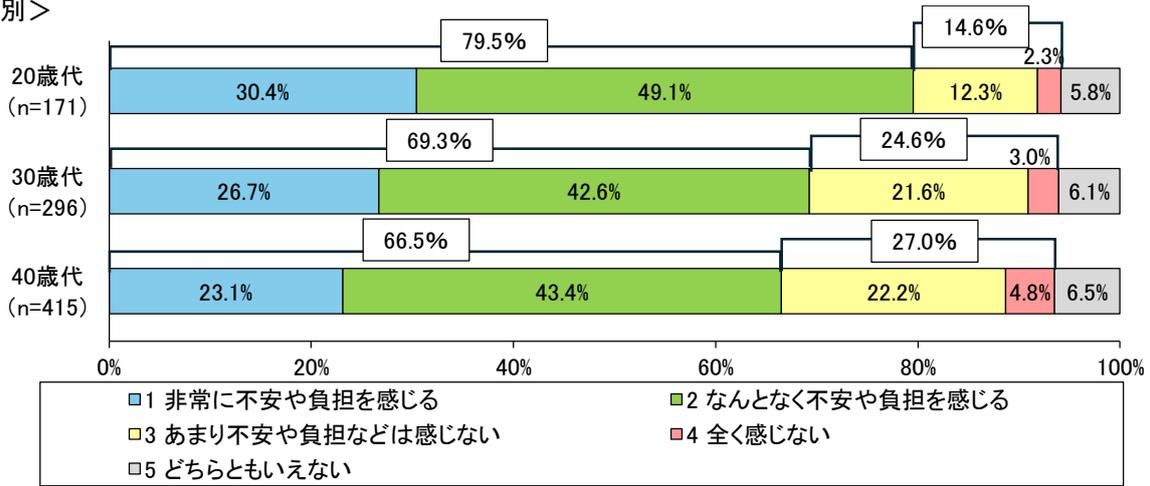
### <全体>



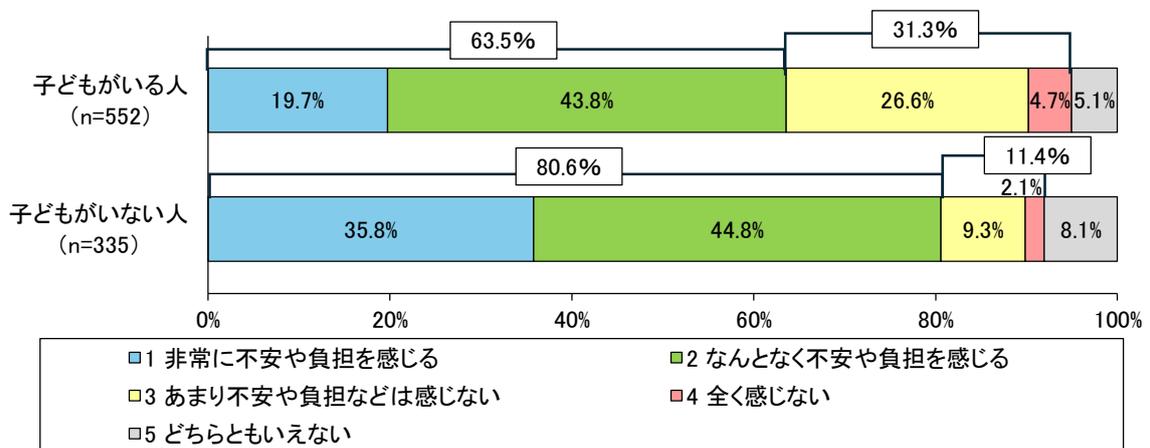
### <性別>



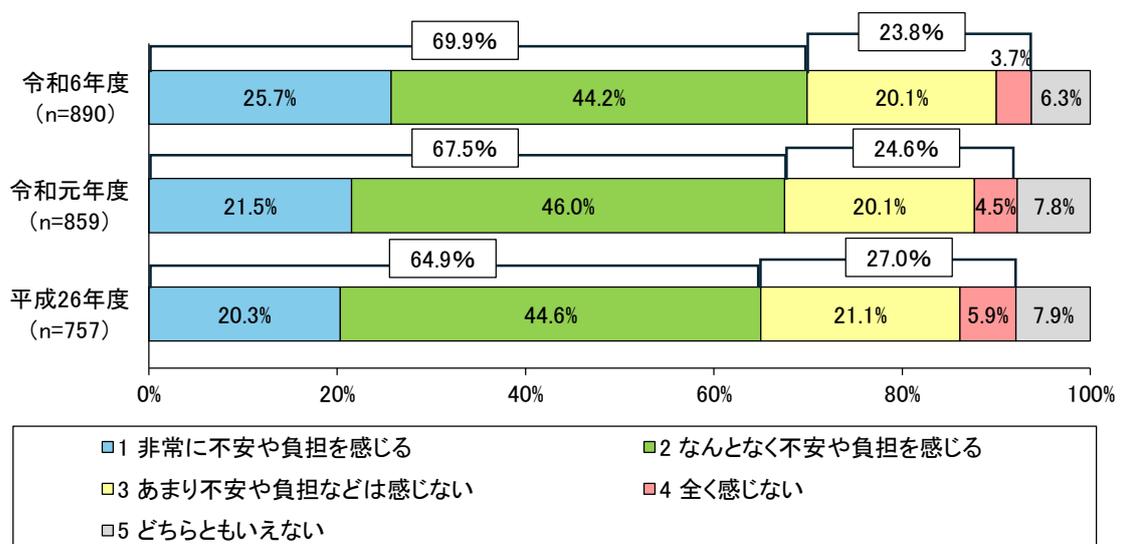
<年代別>



<子どもの有無別>



<過去調査との比較>



問8 あなたは、子育てに関してどのような悩みや不安を感じますか(感じましたか)。

次の項目の中から3つまで選んで○をつけてください。

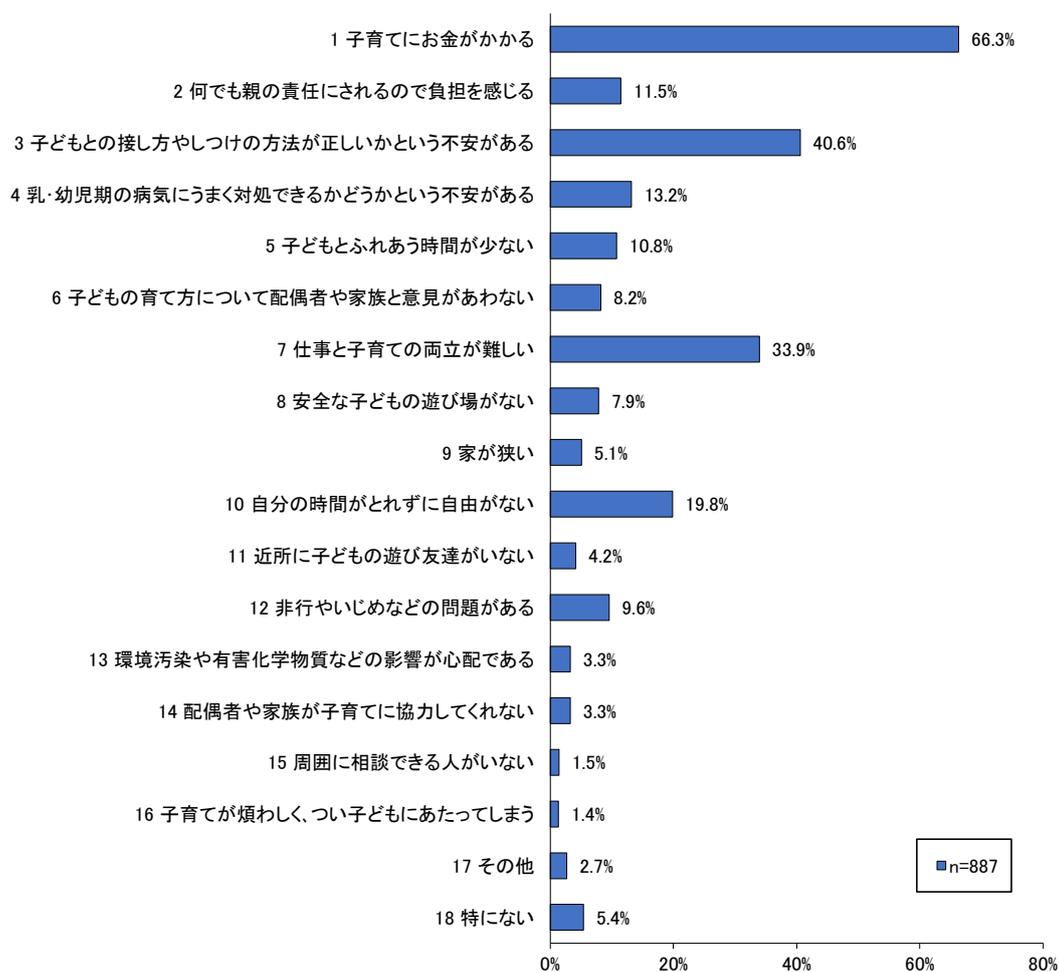
全体では、上位3項目は「子育てにお金がかかる」の割合(66.3%)が最も高く、次いで「子どもとの接し方やしつけの方法が正しいかという不安がある」(40.6%)、「仕事と子育ての両立が難しい」(33.9%)となっています。

性別では、男女とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じ結果となっています。

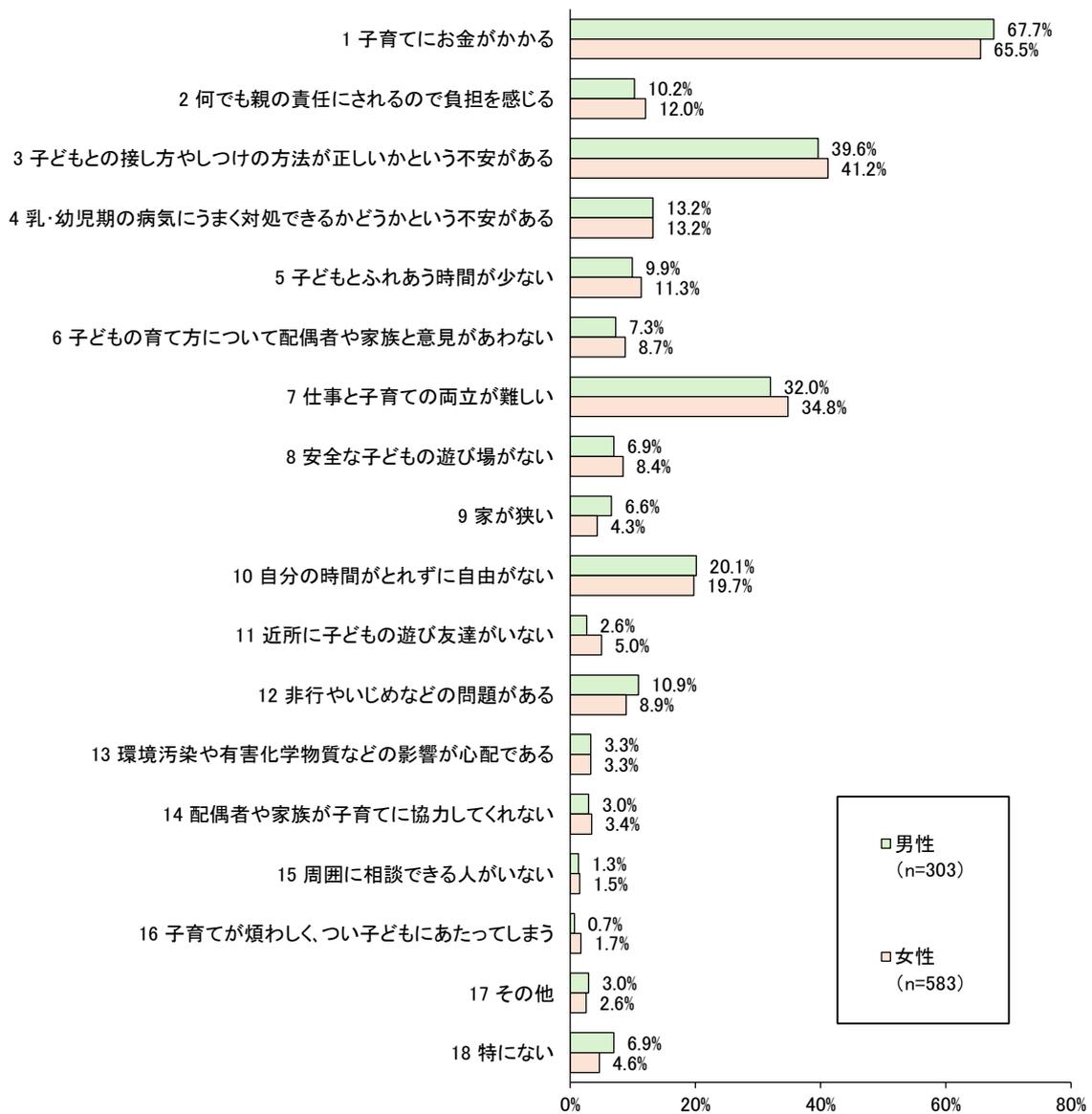
年代別では、各年代とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じとなっています。

過去調査との比較では、上位の項目の順位と割合はほぼ同じ結果となっています。

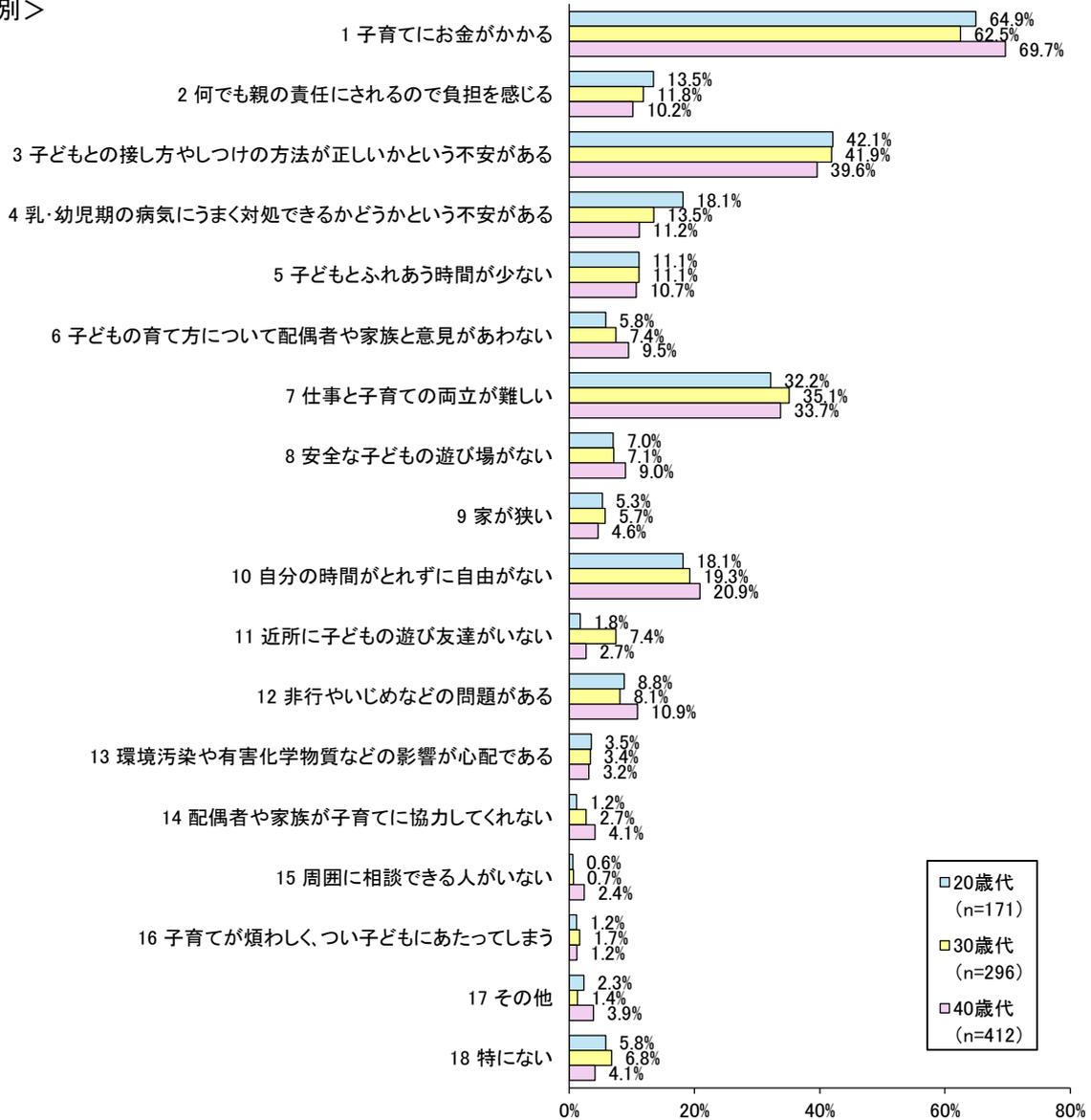
### <全体>



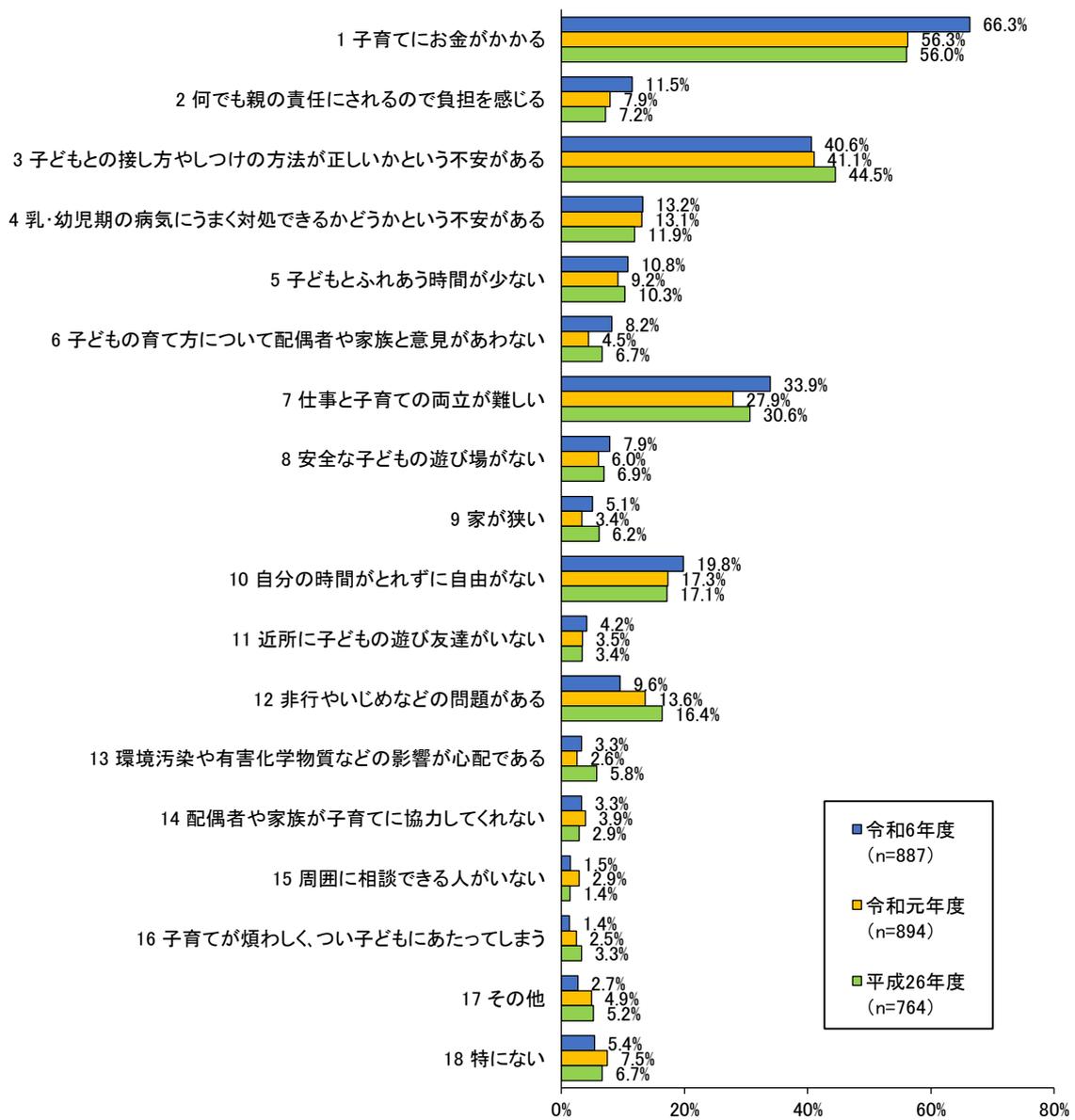
<性別>



<年代別>



<過去調査との比較>



問9 あなたの希望する子ども数(理想子ども数)は何人ですか。

また、希望とは別に、現実には持っていると思う子どもの数(予定子ども数)は何人ですか。

1つずつ選んで○を付けてください。

全体では、希望(理想と)している子ども数(現在の子ども数も含む)は、「2人」の割合(39.0%)が最も高く、次が「3人」(35.2%)となっています。予定している(持っていると思う)子ども数(現在の子ども数も含む)は、「2人」の割合(38.5%)が最も高く、次いで「1人」と「3人」(各19.0%)となっています。

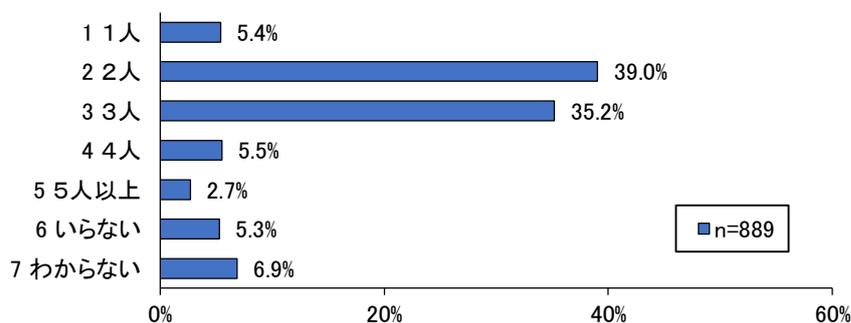
男女別では、男女とも希望(理想と)している子ども数(現在の子ども数も含む)と予定している(持っていると思う)子ども数(現在の子ども数も含む)は、全体とほぼ同じ結果となっています。

年代別では、各年代とも希望(理想と)している子ども数(現在の子ども数も含む)と予定している(持っていると思う)子ども数(現在の子ども数も含む)は、全体とほぼ同じ結果となっています。なお、20歳代は「わからない」が18.7%となっています。

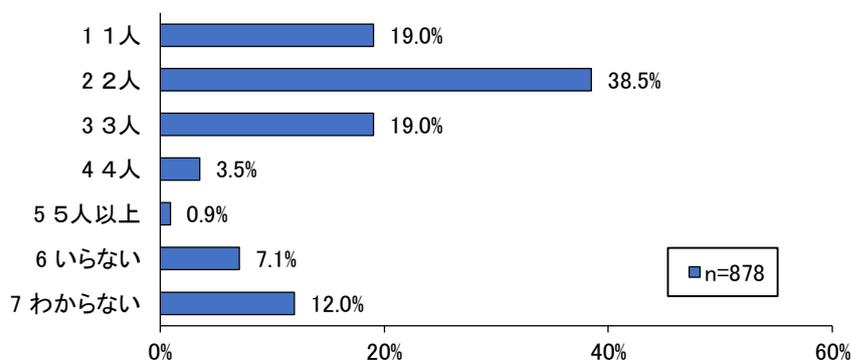
過去調査との比較では、希望(理想と)している子ども数(現在の子ども数も含む)は、各調査とも「2人」と「3人」の割合が高くなっています。予定している(持っていると思う)子ども数(現在の子ども数も含む)は、各調査とも「2人」の割合が高く、次が「3人」となっているものの、令和6年度は「1人」の割合が平成26年度、令和元年度よりも9ポイント以上高まっています。

#### <全体>

##### ・希望(理想と)している子ども数(現在の子ども数も含む)

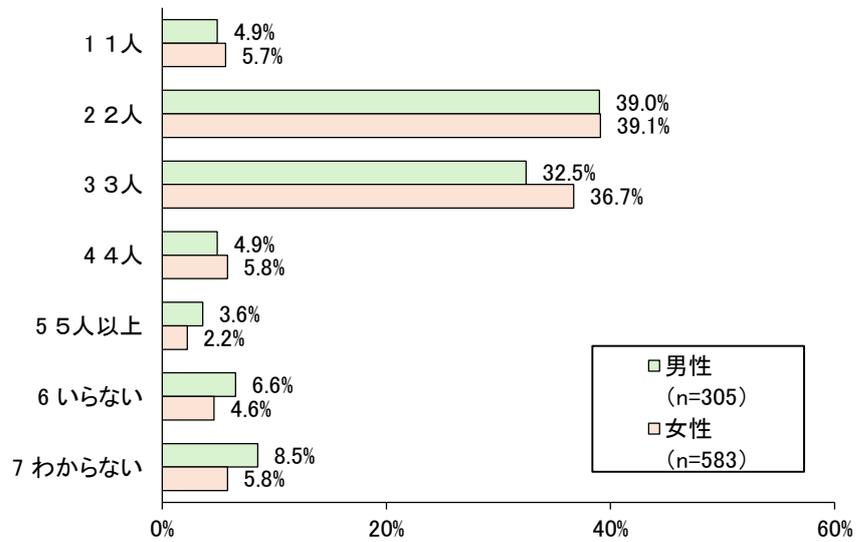


##### ・予定している(持っていると思う)子ども数(現在の子ども数も含む)

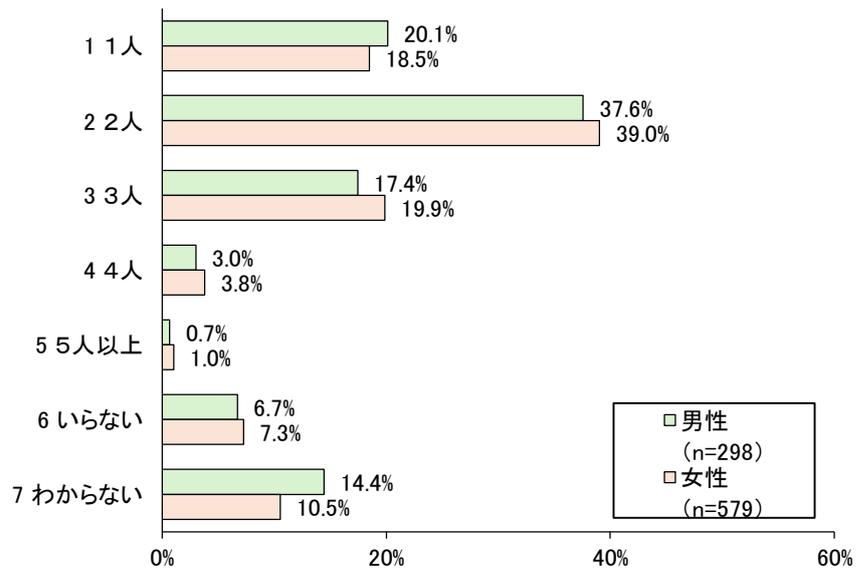


<性別>

・希望(理想と)している子ども数(現在の子ども数も含む)

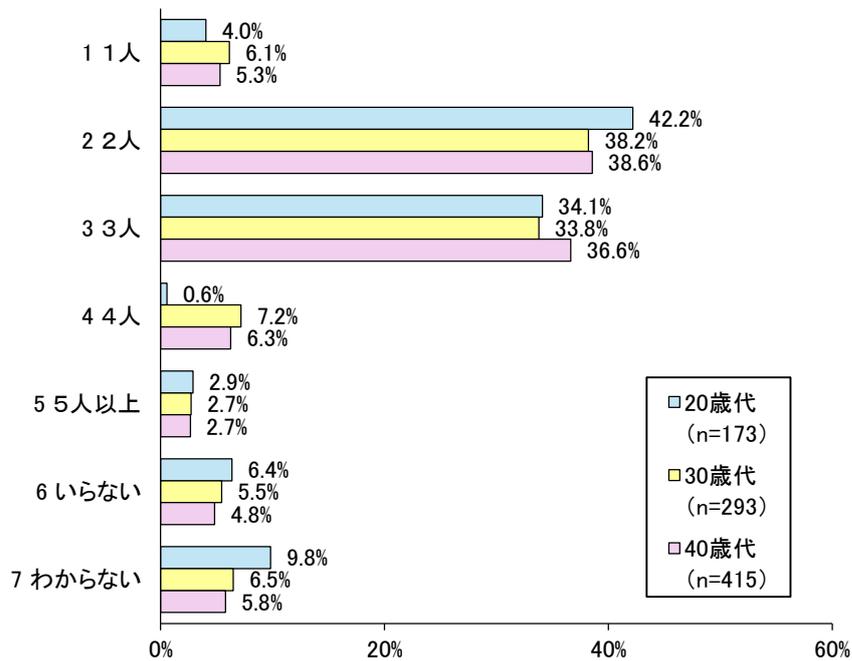


・予定している(持てると思う)子ども数(現在の子ども数も含む)

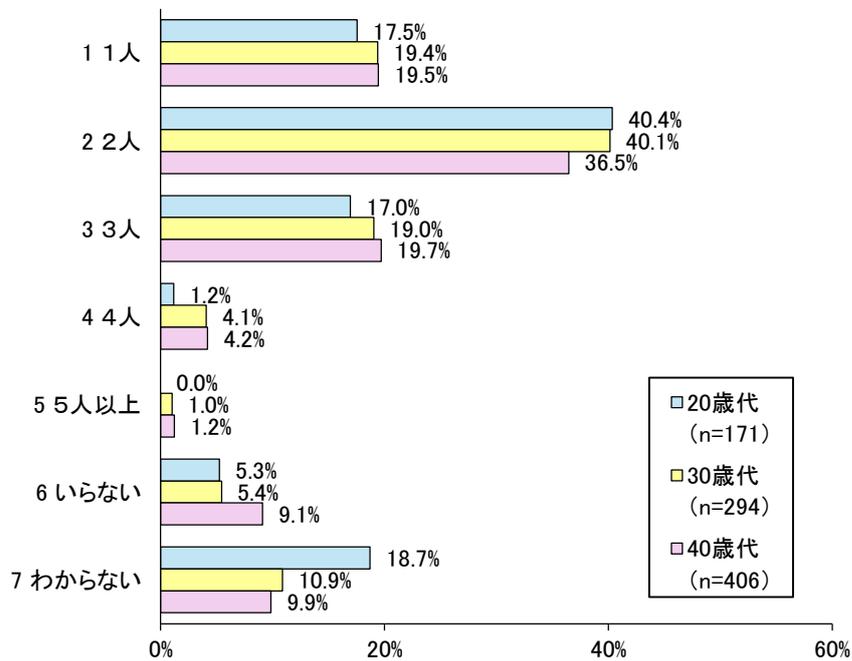


<年代別>

・希望(理想と)している子ども数(現在の子ども数も含む)

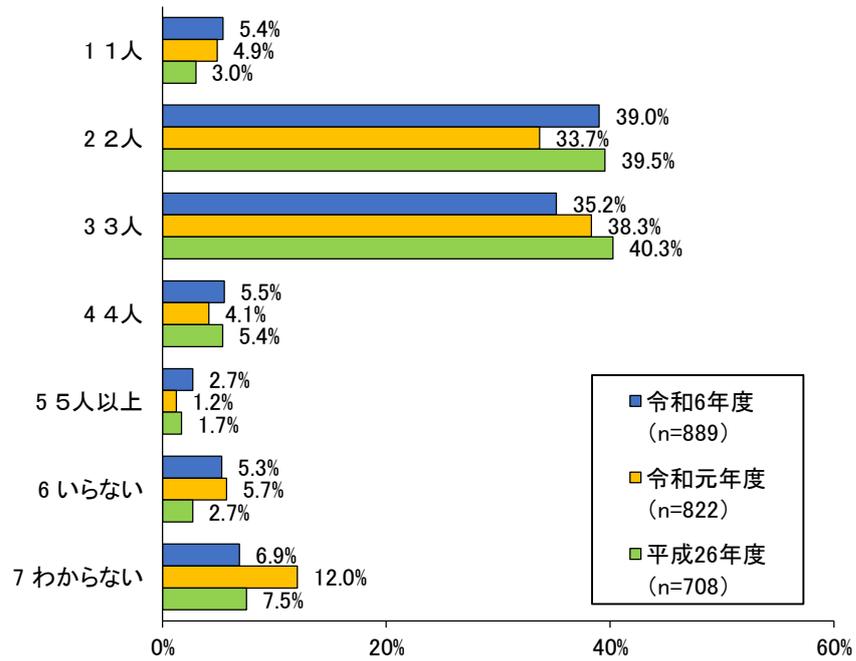


・予定している(持てると思う)子ども数(現在の子ども数も含む)

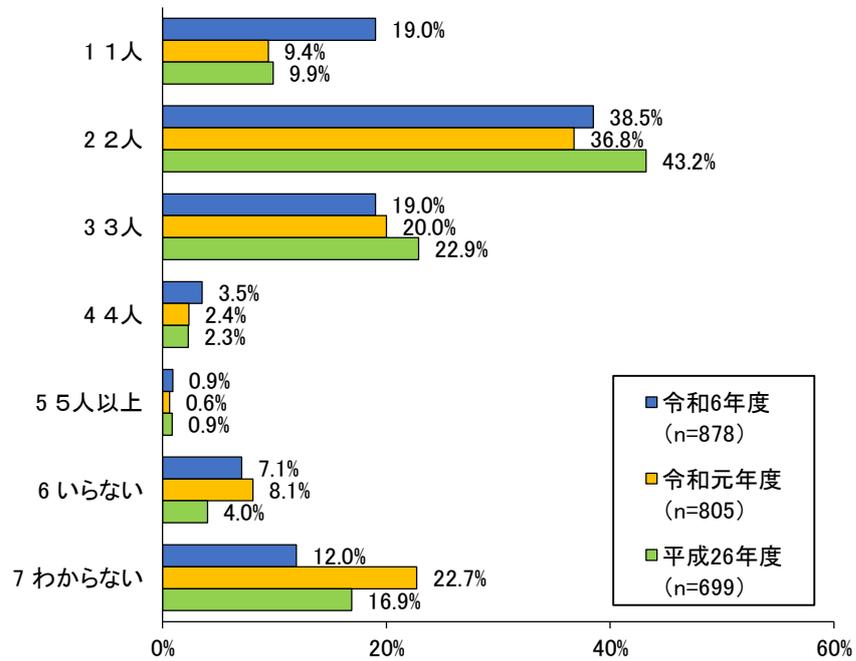


<過去調査との比較>

・希望(理想と)している子ども数(現在の子ども数も含む)



・予定している(持てると思う)子ども数(現在の子ども数も含む)



問10 問9の「希望(理想と)している子どもの数」又は「予定している(持てると思う)子どもの数」で  
 選択肢「1 1人」又は「6 いない」を選ばれた方におうかがいします。

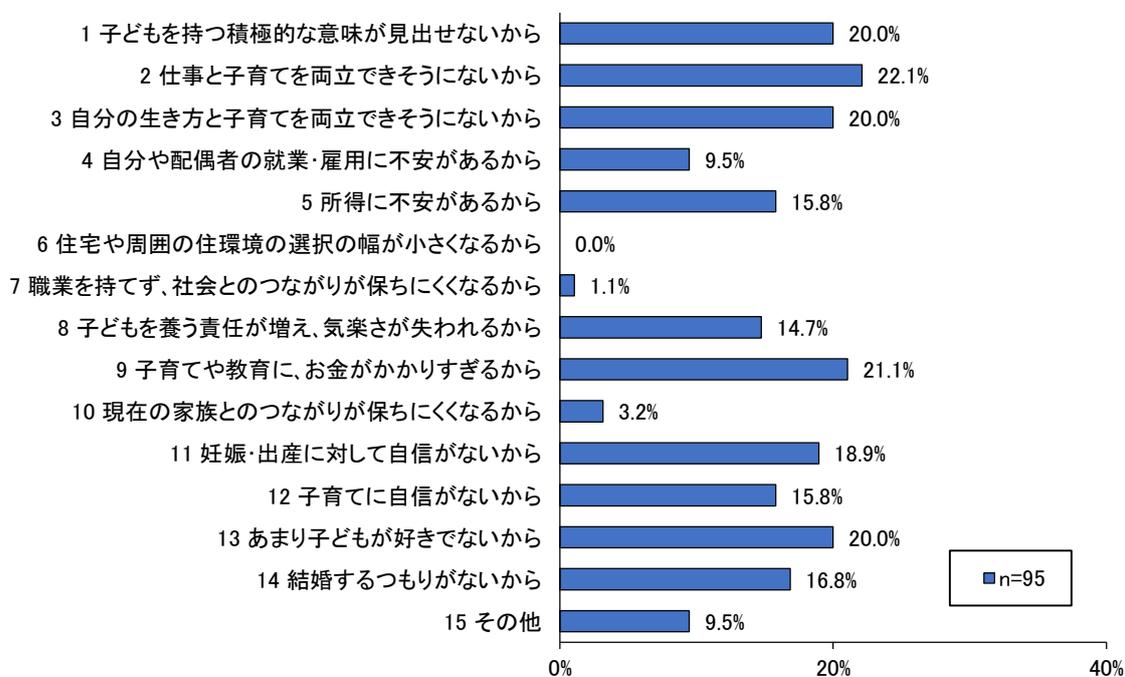
そう考える理由は何ですか。次の項目から3つまで選んで○をつけてください。

全体では、上位項目(20.0%以上)は、「仕事と子育てを両立できそうにないから」「子育てや教育に、お金がかかりすぎるから」(各21.1%)、「子どもを持つ積極的な意味が見出せないから」「自分の生き方と子育てを両立できそうにないから」「あまり子どもが好きでないから」(各20.0%)となっています。

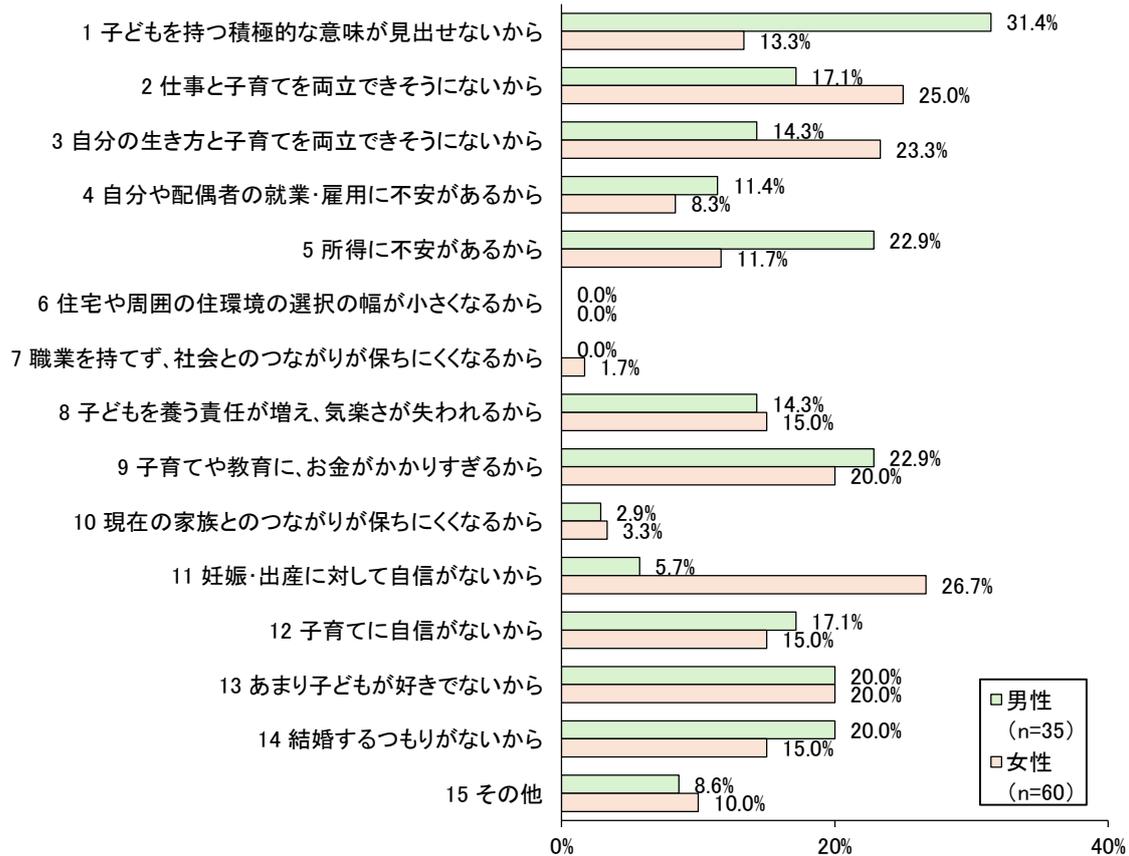
性別では、男性は「子どもを持つ積極的な意味が見出せないから」の割合(男性:31.4%、女性:13.3%)が最も高く、次が「所得に不安があるから」(男性:22.9%、女性:11.7%)となっています。女性は「妊娠・出産に対して自信がないから」の割合(女性:26.7%、男性:5.7%)が最も高く、次が「仕事と子育てを両立できそうにないから」(女性:25.0%、男性:17.1%)となっています。

※年代別は母数が少ないため分析しません。

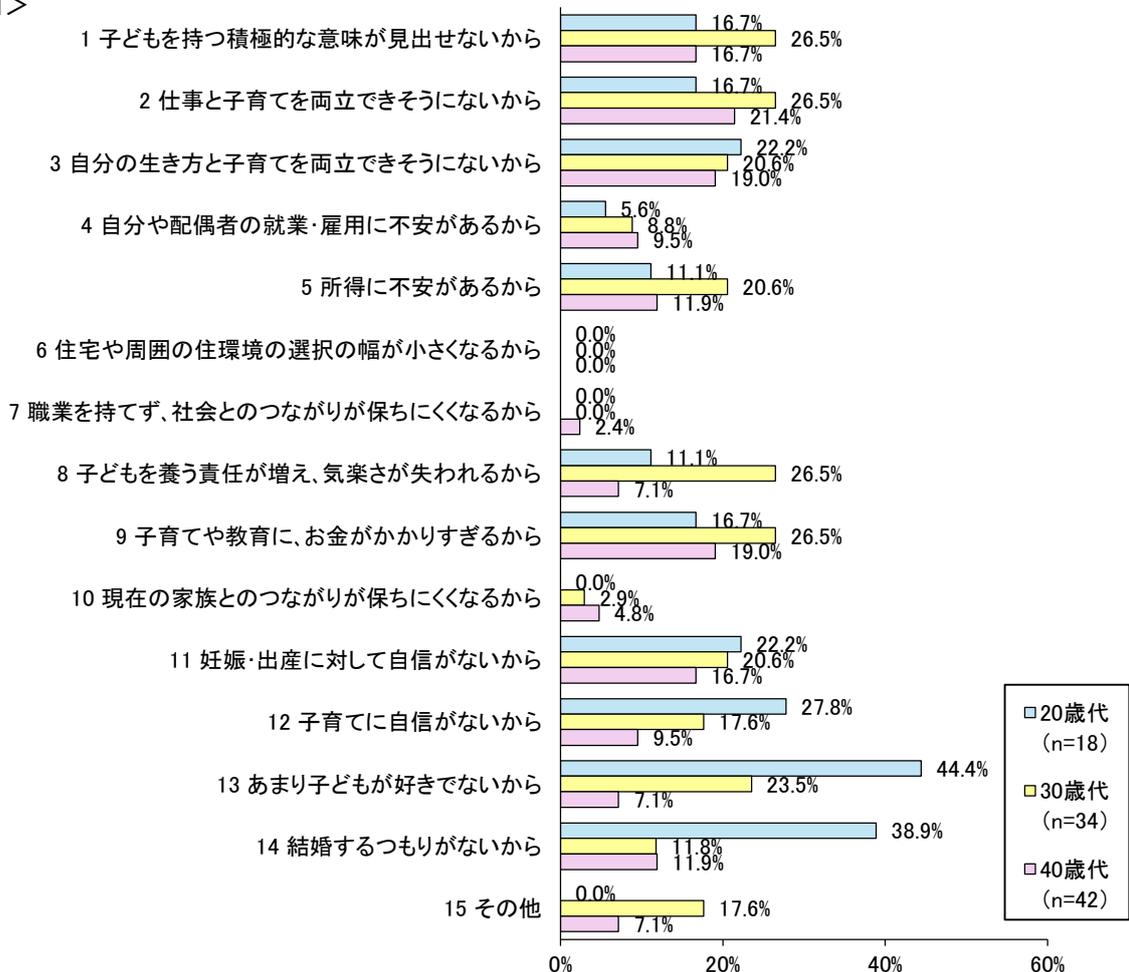
### <全体>



<性別>



<年代別>



問11 問9の「予定している(持てると思う)子どもの数」が、「希望(理想と)している子どもの数」より少ない方におうかがいします。

そのように思っているのはなぜですか。次の項目の中から3つまで選んで○をつけてください。

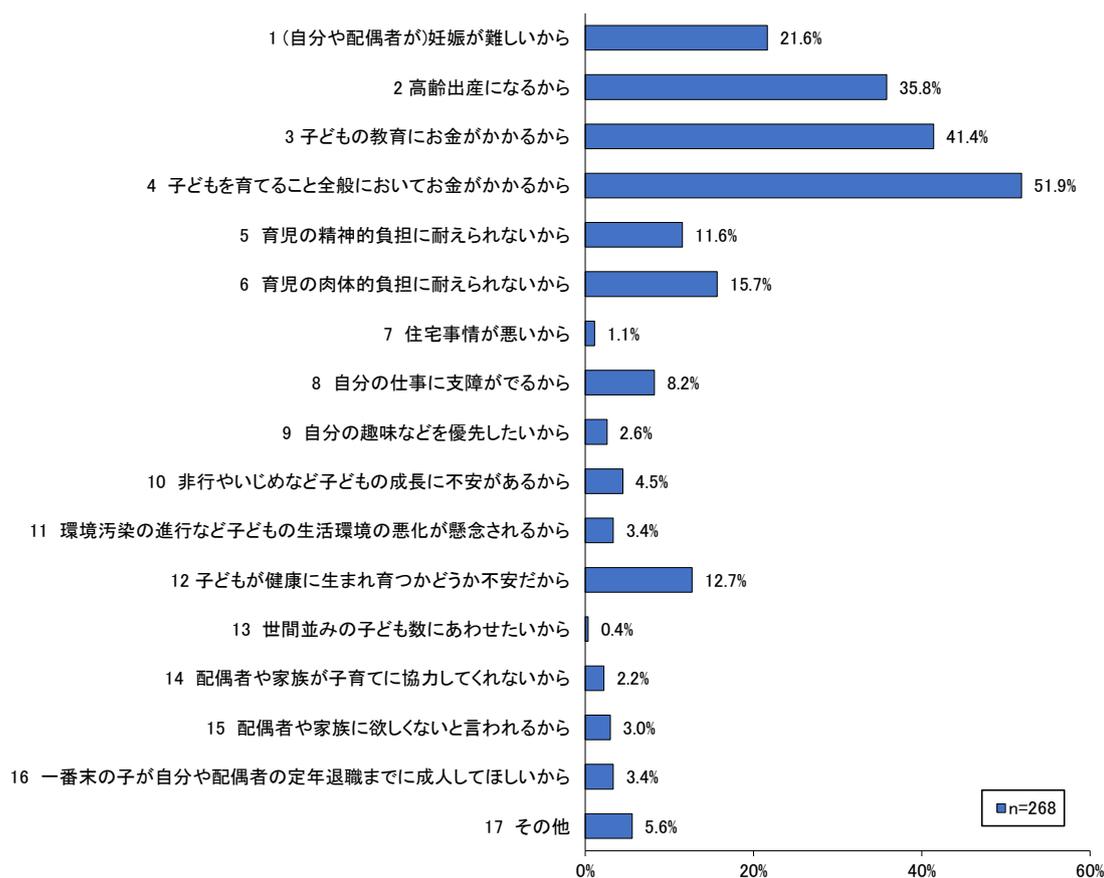
全体では、上位の3項目は「子どもを育てること全般においてお金がかかるから」の割合(51.9%)が最も高く、次いで「子どもの教育にお金がかかるから」(41.4%)、「高齢出産になるから」(35.8%)となっています。

性別では、男女とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じとなっています。その中で、「子どもを育てること全般においてお金がかかるから」の割合(男性:60.2%、女性:47.8%)は男性が女性を12.4ポイント上回っています。

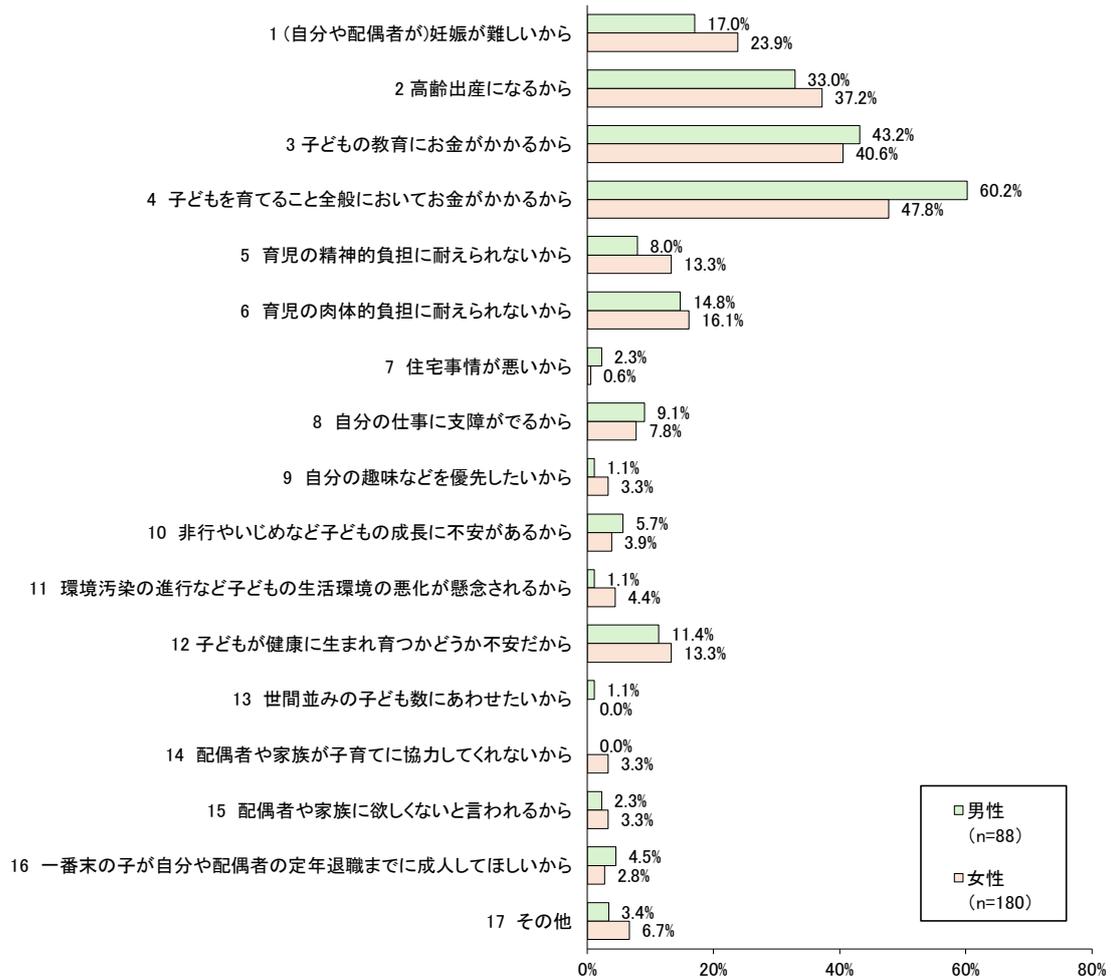
年代別では、各年代とも上位の項目の順位は全体とほぼ同じとなっています。その中で、20歳代は「子どもを育てること全般においてお金がかかるから」の割合(89.1%)と「子どもの教育にお金がかかるから」(67.4%)が他の年代よりも高くなっています(※但し、母数は少ない。)

過去調査との比較では、上位の項目の順位はほぼ同じ結果となっています。その中で「高齢出産になるから」の割合は低下する傾向、「子どもの教育にお金がかかるから」は高まる傾向で推移しています。

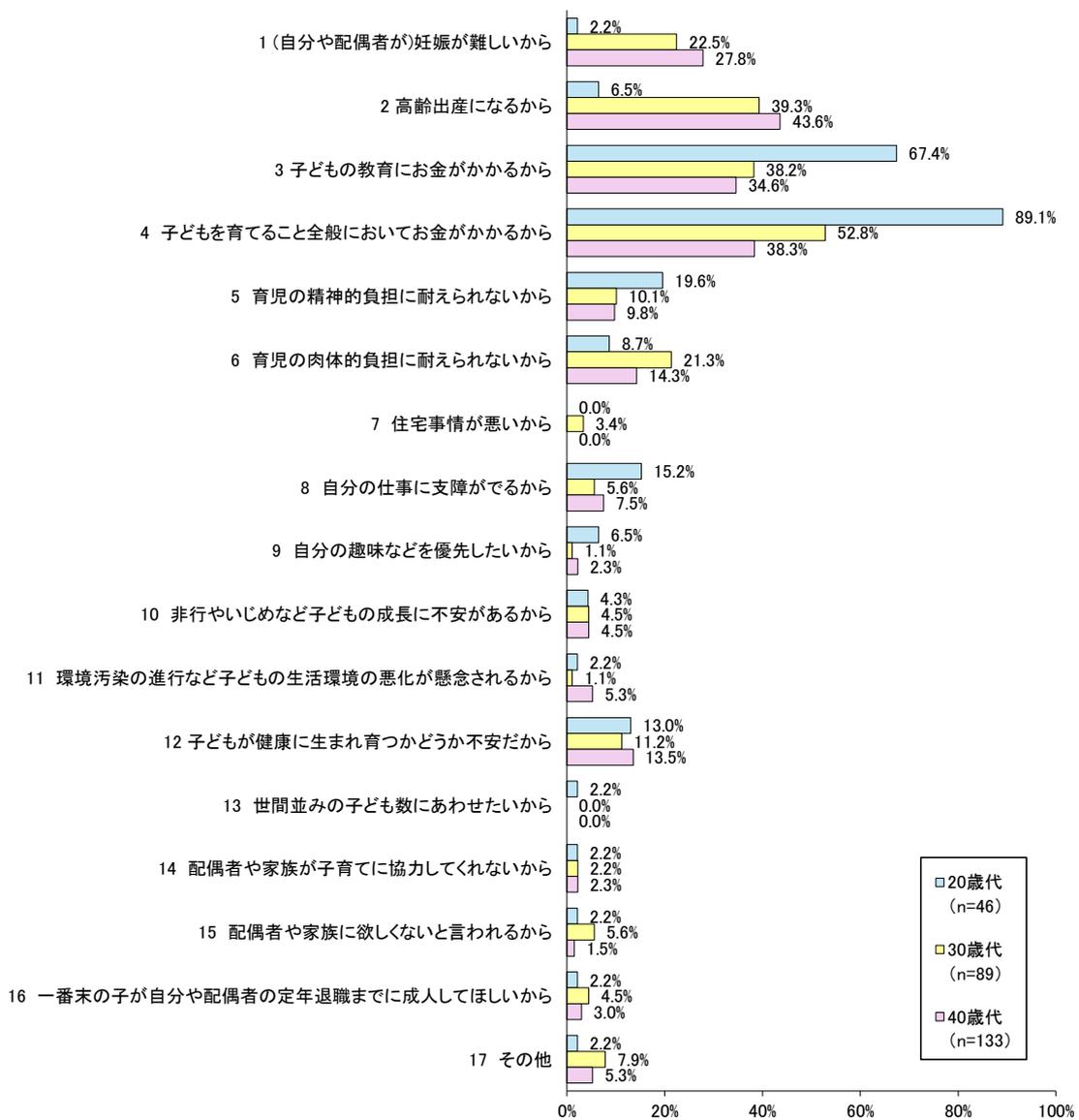
#### <全体>



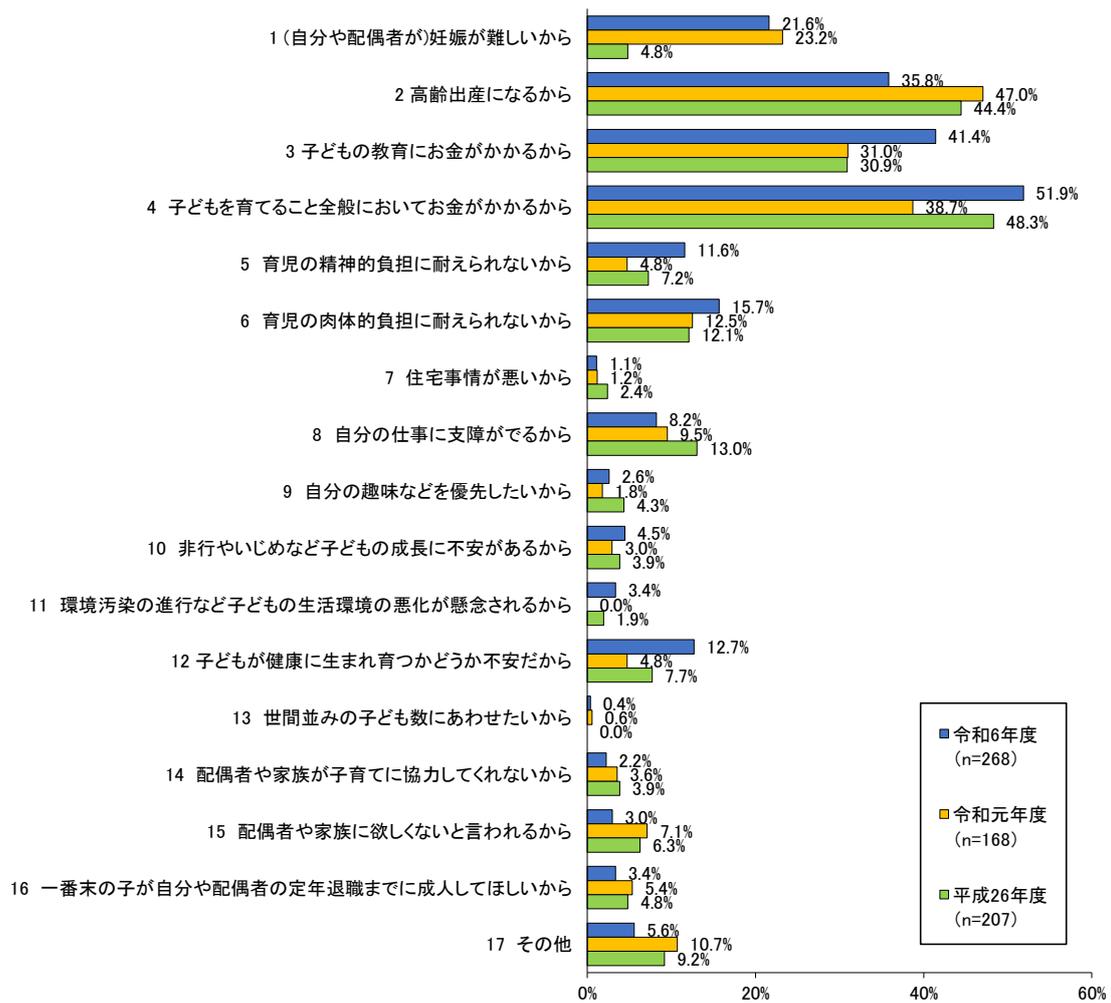
<性別>



<年代別>



<過去調査との比較>



問12 あなたは何歳ぐらいまでに子どもがほしいと思いますか。(ほしかったと思いますか。)

次の項目の中から1つだけ選んで○をつけてください。

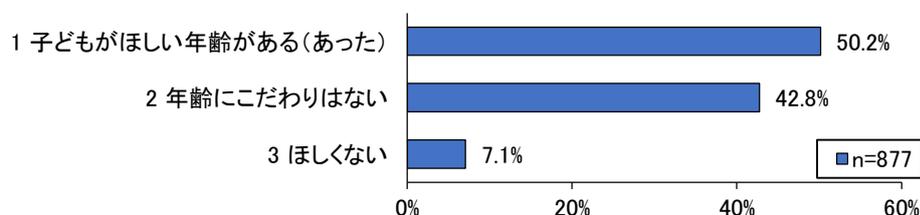
また、1を選んだ方は具体的な年齢を記載してください。

全体では、『子どもがほしい』(「子どもがほしい年齢がある(あった)」と「年齢にこだわりはない」の計:以下同じ)割合は93.0%となっています。一方、「ほしくない」は7.1%となっています。子どもがほしい(ほしかった年齢)は「30～34歳」の割合(40.9%)が最も高くなっています。

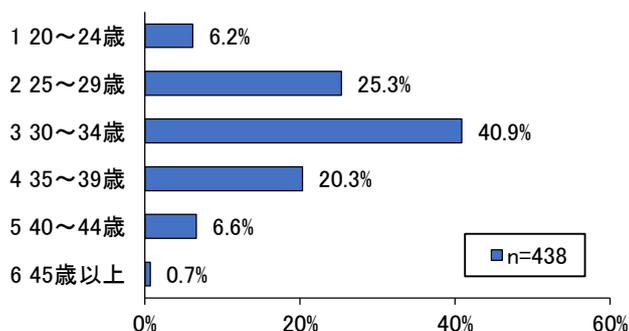
性別では、『子どもがほしい』は男女ともほぼ同じ割合となっています(男性:91.3%、女性93.7%)。子どもがほしい(ほしかった年齢)は、男女とも「30～34歳」の割合が最も高くなっています(男性:47.8%、38.4%)。

年代別では、『子どもがほしい』は各年代ともほぼ同じ割合となっています(20歳代:89.5%、30歳代:93.8%、40歳代:93.7%)。子どもがほしい(ほしかった年齢)は、各年代とも「30～34歳」の割合が最も高くなっています(20歳代:51.5%、30歳代:40.6%、40歳代:35.6%)。

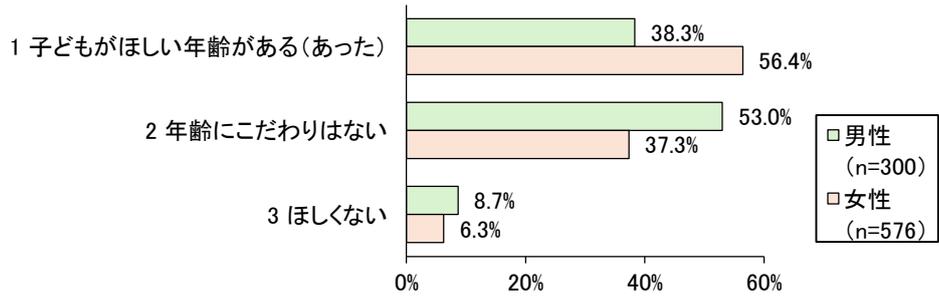
#### <全体>



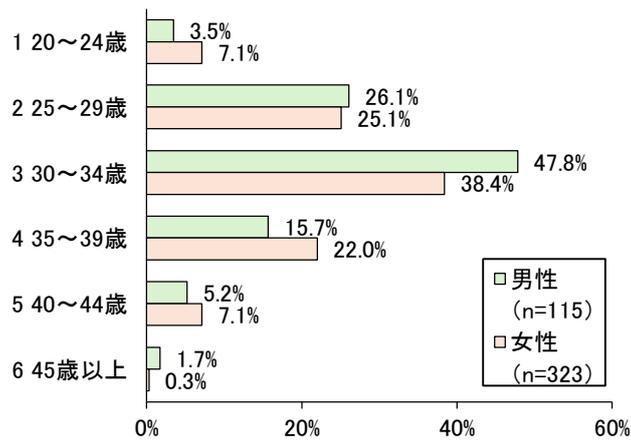
#### ・子どもがほしい(ほしかった)年齢



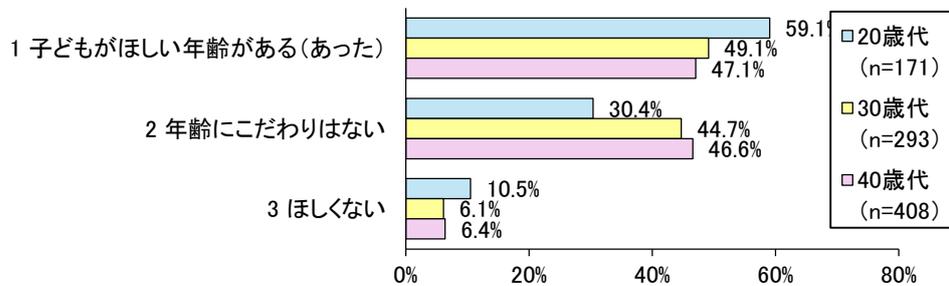
<性別>



・子どもがほしい(ほしかった)年齢



<年代別>



・子どもがほしい(ほしかった)年齢

